

SMILE HEART

[スマイルハート] No. 22

情熱あふれる産地づくりを目指して

January 2016

1

謹
賀
新
年

特集

さる年生まれ大集合！
第28回和歌山県JA大会を開催



新年のごあいさつ



代表理事組合長
久保 秀夫

管内の農業の特性を活かし

豊かな地域社会の実現を！

新年あけましておめでとうございます。

組合員・地域の皆様方におかれましては、気分も新たに清々しい年明けをお迎えの事と、心よりお慶び申し上げます。

さて、わが国経済は、アベノミクス効果等により、全体としては緩やかな回復基調にあります。地方経済の状況については都市部や地域間でのバラツキが大きく、特に本県においては景気の回復を実感するには程遠い状況にあります。

J Aはこれまで、農業生産基盤の脆弱化に加え、とりわけ人口減少や高齢化の進展等が著しい環境の中で、効果的かつ効率的な事業運営と組合員に対する質の高いサービスの提供を目指してきました。しかし、全国的に依然として農業従事者の減少と高齢化が進み、鳥獣害被害の拡大もあって耕作放棄地が増加し、農産物価格の低迷で農家所得が減少するなど一段と厳しい状況にあります。



常勤監事
豊田 隆久



購買店舗担当常務理事
片山 忍



営農販売担当常務理事
芝崎 幸司



金融共済担当常務理事
稲葉 茂幸



総務担当常務理事
東 忠



代表理事専務理事
芝 光洋



このため、『第28回和歌山県JA大会』では、農協改革や本県の農業・JAを取り巻く情勢等を踏まえ、JAグループ和歌山がめざす姿として掲げる「持続可能な農業の実現」「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」「協同組合としての役割発揮」の達成に向け、「農」と「地域」を支える協同の実践により「力強い農業」と「豊かな地域」の創造に取り組む事を決議しました。特に、今年10月、懸案であったTPP交渉が大筋合意に至り、農産物の重要5品目（米、麦、豚肉、牛肉、乳製品、甘味資源作物）への特別輸入枠の設定や、段階的な関税削減・撤廃にとどまらず、今まで全く報道されていなかった果樹・野菜についての関税撤廃も含まれており、管内農業にとっても非常に厳しい合意となっています。

当JAでは、管内の農業の特性を活かしつつ、「紀州ブランドの確立と販売力の強化」、「農業生産基盤の整備及び営農指導体制・機能の強化」、「安定した健全なJA経営の確立」、等の実現に向けて、引き続き組合員・地域の皆様方のご協力のもと、この危機に役職員一体となって全力で立ち向かいたいと思いますので、何卒ご協力よろしくお願い申し上げます。

S_{MILE} H_{HEART} Contents 2016. January

新年のごあいさつ.....	2
特集.....	4
さる年生まれ大集合！	
特集.....	6
第28回和歌山県JA大会を開催	
トピックス.....	9
あぐりガイド.....	12
インフォメーション.....	17
読者の広場.....	18
表紙紹介.....	19
JA紀州クッキング.....	20



大集合!



江川 優那くん
平成16年4月19日
生まれ

小学1年生から始めたソフトテニス。6年生となる今年は、いっぱい練習をしてもっとうまくなりたいです。そして一番大きな目標は、全国小学生ソフトテニス大会のシングルスに出場して、県予選を突破し、全国大会で優勝することです。
(名田支店管内)



管内の申年生まれの方々が大集合!
新年の抱負を語っていただきました。



竹内 みえ子さん
昭和31年9月7日
生まれ

明けましておめでとうございます。今年は“赤いちゃんちゃんこ”ならぬ“赤いスカーフ”でも巻いて、ドキドキ、ワクワクの第2の人生をエンジョイしたいと思います。本年も宜しくお願い致します。
(中津支店管内)



垣口 晃昭さん
昭和43年6月10日
生まれ

体調管理に注意して、しっかり仕事を行い、年齢に負けないように明るく元気に生活できるようにしていきたいです。
(美山支店管内)



豊田 健悟さん
平成4年9月30日
生まれ

社会人2年目なので、様々な面で「成長」できる年にしたいです。
(美浜支店管内)



宮脇 操さん
昭和7年6月9日
生まれ

60年続けてきた米作りを今年も夫婦力を合わせて頑張りたい。こんにゃく・味噌作りも、毎年楽しみにしてくれている人がいるので今年も作りたい。猿も木から落ちるといけど、なかなか落ちそうにない。
(龍神支店管内)

さる年生まれ



森本 美裕ちゃん
平成16年5月12日
生まれ

今年6年生になるので、小学校最後の年をがんばります。

(印南支店稲原出張所管内)



橋本 元さん
昭和55年9月5日
生まれ

昨年は初めてフルマラソンに参加し、5時間1分で完走することが出来ました。今年は年男なので、挑戦する年にしたいと思います。もう一度フルマラソンに挑み、一気に3時間台で走りたいです。

(湯川支店管内)



楠山 康雄さん
昭和19年3月7日
生まれ

1年間健康でゲートボールが出来るように頑張ります。

(日高支店管内)



西山 美希さん
平成4年4月17日
生まれ

一日一日を大事にし、年末に振り返った時に「良い年だったな」と思えるような年にしたい。また仕事にも早く慣れて、職場の人のお役に立てるようになりたい。

(由良支店管内)



露谷 晃美さん
昭和19年4月8日
生まれ

健康で夫と共にぼちぼちと農業を楽しみたいです。ゆとりの時間を作り、観劇・旅行等にも行きたいと思っています。

(川辺支店管内)



西村 達也さん
昭和31年2月19日
生まれ

60歳を迎えて、新たに20歳になった頃の気持ちで色んなことに挑戦していきたい。

(梅の郷支店高城出張所管内)

第28回和歌山県JA大会を開催

組合員・役職員ら約700人が出席

今後3年間の基本方向を確認



大会議案

『力強い農業』と『豊かな地域』の創造

J Aグループ和歌山は11月18日、和歌山県民文化会館（和歌山市）で第28回和歌山県JA大会を開き、今後3年間の県内JAグループの基本方向を確認決定しました。

今大会の議案は「『力強い農業』と『豊かな地域』の創造」。「地域農業の振興と農業所得の向上への挑戦」をはじめとする5項目を重点実施事項として決議、県内JAグループが一体となって着実な実践に取り組むことを宣言しました。

また、10月に大筋合意したTPP交渉について、その内容には事前には全く報道されていなかった果樹・野菜についての関税撤廃も含まれており、本県農業にとっても非常に厳しいものであることから、全国のJAグループと連携し、「大筋合意の内容と国会決議の整合性を徹底検証し、農業・農村を守るための万全な対策運動に取り組む」ことを特別決議しました。

開会にあたりJA和歌山中央会の中家徹会長は、「農協改革を受けて開催する今回の大会は、JAグループにとって重要な大会である。農協改革をめぐっては、JAや協同組合についての十分な理解がないなかでの

議論やJA批判が展開されたが、JAは「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」であることを、あらためて全ての組合員・役職員で共有し、地域の方の理解も得ながら、大会決議の実践に全力で取り組む」と挨拶しました。

また、午後からはテレビドラマ「北の国から」などを手がけた脚本家の倉本聰さんを講師に招き、「北海道で考える」と題した記念講演が行われ、一般消費者にも広く農業・JAへの理解を促進することを目的に、応募で選ばれた一般参加者を招待しました。

倉本さんは、都市部への権力・財力・人口の集中が、地方の有権者（生産者）の無視につながると危機感を表明。農業を資本主義的にとらえようとする現在の風潮に警鐘を鳴らしました。



記念講演をする倉本聰さん

第28回和歌山県JA大会決議のポイント

JAグループ和歌山のめざす姿

農協改革の議論のなかで、政府の規制改革会議等から、JAグループの組織や事業、協同組合の根幹に関わる改革方向が提起されました。

JAは、これまでも農業振興や地域振興に大きな役割を果たしてきましたし、これからもその役割発揮がますます重要となります。

このため、JAは「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」であることを今後も堅持し、前回大会で確認した①持続可能な農業の実現、②豊かで暮らしやすい地域社会の実現、③協同組合としての役割発揮の3つのめざす姿の実現に継続して取り組みます。

5つの重点実施事項

- 地域農業の振興と農業所得の増大への挑戦
- 「地域に根ざした協同組合」としての機能発揮
- 組織基盤の強化と組合員の参加・参画の促進
- 地域農業の振興と地域の活性化を支える健全なJA経営の確立
- 本県JAグループの機能・組織体制の検討・構築

「力強い農業」と「豊かな地域」の創造

JAグループのめざす姿

持続可能な農業の実現

消費者の信頼にこたえ、安全で安心な農産物を持続的・安定的に供給できる地域農業を支え、農業所得の向上を支える姿

豊かで暮らしやすい地域社会の実現

総合事業を通じて地域の生活インフラの一翼を担い、共同の力で豊かで暮らしやすい地域社会の実現に貢献している姿

協同組合としての役割発揮

健全な経営のもと、次世代とともに「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として存立している姿

今大会のテーマ

今回の大会のテーマは「力強い農業」と「豊かな地域」の創造です。農業所得の向上にJAグループをあげて挑戦し、組合員子弟を中心とする次世代の担い手にとって魅力ある「力強い農業」を実現するとともに、総合事業で地域の生活インフラを支え、多様な協同活動の展開を通じて、豊かで暮らしやすい地域社会づくりに貢献していきます。

重点実施事項その①

「地域農業の振興と農業所得の向上への挑戦」

生産基盤の維持・強化と生産販売戦略の実践などを通じ、県内JA販売高590億円の実現をめざします。

①生産者組織を核とした生産

基盤の維持・強化

産地維持の観点から、優良農地を維持するため、部会や選果場など生産者組織による地域ぐるみの農地維持対策や農地利用集積円滑化事業や農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積に取り組めます。

県内JAの販売高の推移と目標

(単位:億円)

	H23	H24	H25	H26	H27	H30
果実	329	322	325	312	325	345
野菜	96	94	93	95	96	105
花卉・花木	46	46	45	47	46	50
直売所	61	62	66	68	69	70
その他	18	21	19	21	21	20
合計	550	545	549	544	557	590

※H27年度は各JAの事業計画(合計)による

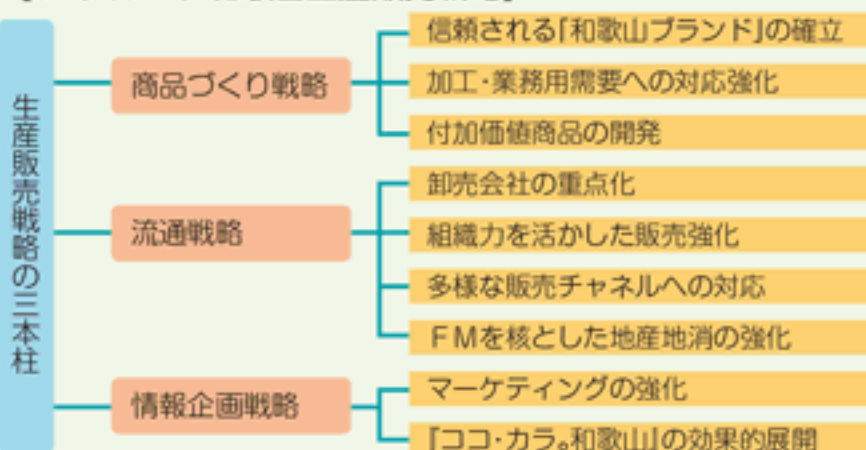
また、農業経営の総合的支援に取り組みむとともに、「新規就農者支援パッケージ」の確立等により担い手の育成支援に取り組めます。

②JAグループ和歌山生産販売戦略の実践

「売れるものをどう作るか」「売るためにどう取り組むか」を基本に、生産から販売まで一貫した生産販売戦略を構築・実践します。

和歌山ブランドを強化する「商品づくり戦略」、多様な販売チャネルに対応する「流通戦略」、企画力・提案力を強化する「情報企画戦略」

【JAグループ和歌山生産販売戦略】

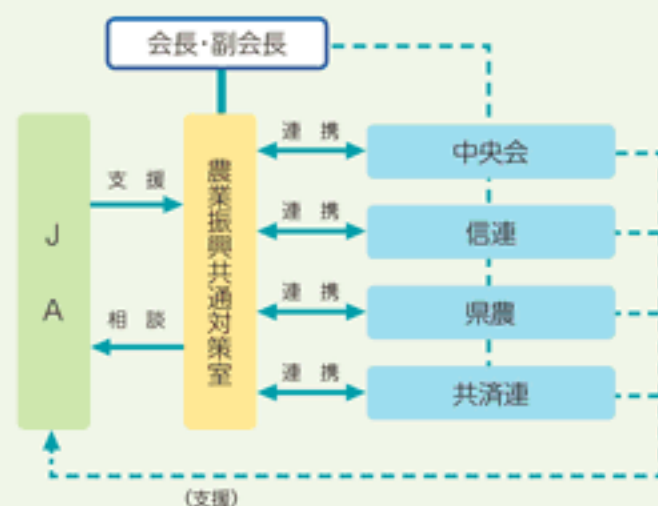


の3つの生産販売戦略を柱に、農業所得の向上と本県農業の活性化に取り組めます。

③営農指導機能・体制の強化

地域農業振興にむけ、生産から販売までを総合的にマネジメントする営農企画機能や農業所得向上に向けたコンサルティング機能の強化をはかります。また、営農指導員の計画的な採用、階層別研修体系の確立しより高度な専門指導員の養成を進めるなど、営農指導体制の強化に取り組めます。

【農業振興共通対策室(仮称)のイメージ】



④生産コストの低減

生産コストの低減をはかるため、系統結集の強化を基本とした購買事業改革を進めます。

統一防除暦などに基づき県内JAグループ全体で銘柄・規格の集約を進めるとともに、低コスト資材の普及、配送体制の見直しなどを通じ、生産資材コストの低減に取り組みます。

また、結集量を背景にした仕入れ交渉を強化し、生産資材価格の抑制をはかります。

⑤中央会・連合会によるJA支援・補完機能の強化

県域の共通部署として「農業振興共通対策室」を設置し、中央会・連



移動購買車の導入で地域住民のくらしを支える

合会が一体となって、JAにおける地域農業の振興、担い手の育成・確保、営農指導・営農企画機能の強化等の取り組みを支援・補完します。また、将来的には県やJAとの人事交流も行いながら、機能の強化をはかっていきます。

重点実施事項その②

「地域に根ざした協同組合」としての機能発揮

●中山間地域を中心に過疎化・高齢化が進行し、地域社会の機能低下が懸念されます。こうしたなか、総合事業や様々な活動を通じて地域の生活インフラを支えるとともに、地域貢献活動に積極的に取り

組みます。

●あぐりスクールや女性大学、シニア世代を対象とした料理教室、農業塾など、「食」や「農」を中心としたくらしの活動を積極的に展開するとともに、ファーマーズマーケットを核に地域との交流を深め、地域農業やJAの応援団づくりを進めます。

●「食」「農」「地域」を支えるJAの取り組みについての理解を深めるため、「食」「農」「JA」「協同組合」などに関する情報発信を強化するとともに、県内JAグループ全体として一体感のある情報発信につとめます。

重点実施事項その③

組織基盤の強化と組合員の参加・参画の促進

●正組合員の世代交代へのサポートを通じ、次世代の地域農業の担い手である第二、第三世代の正組合員との接点づくり・関係強化に取り組むとともに、くらしの活動への参加者やJA事業の利用者の准組合員加入を進めます。

●青年部・女性会など組合員組織の拡充・活性化に取り組むとともに、シニア世代を対象とした活動参加

者のグループ化など、新たな組合員組織の育成をめざします。

●支所協同活動を全JAの全支所で展開するとともに、支所運営委員会の設置、地区懇談会の開催などを通じ、組合員の声をJAの事業や運営に反映します。また、女性の運営参画についてもさらに促進します。

●こうした取り組みを通じ、組合員がJAや支所を拠り所として、積極的に協同活動に参加・参画する「アクティブ・メンバーシップ」の確立をめざします。

重点実施事項その④

健全なJA経営の確立

●農業所得の向上や豊かで暮らしやすい地域社会づくりへの取り組みを支えるため、健全なJA経営の確立に取り組みます。

重点実施事項その⑤

本県JAグループの機能・組織体制の検討・構築

●農協改革や人口の減少・高齢化など事業環境の変化を踏まえ、本県JAグループの今後の機能・組織体制のあり方について、合併構想も含めて3カ年のなかで検討します。



▲おにぎり配布



▲きいちゃんと共にPRを手伝うKKG3

県農協青年部協議会 創立40周年記念大会

◀県代表に選ばれた中家文雄さん

11月23日、県農協青年部協議会の記念大会が和歌山市のJAビルで開かれ、部員22人が参加しました。大会では、県内各JAから4人の青年部員が『青年の主張』を発表。みなべいなみ支部中家文雄さんが県代表に選ばれました。

JAビル前では、JA郡山市がブランド米『あさか舞』をPRしました。当JAの南高梅とコラボレーションし、梅干し入りおにぎりを訪れた方々に配布しました。部員、KKG3がPRを手伝いました。

青年部 第2回 役職員との対話集会

12月4日、第2回目となる対話集会を開きました。青年部員約30人、JA役職員13人が参加し、営農・販売・人材育成と農協の方針等について、約2時間にわたり話し合いました。一部をご紹介します。



▲久保秀夫組合長

▲青年部
庄門孝浩
部長

- (青年部) 営農指導員の増加をお願いします。人数が少ないため個人の負担が大きく、現場へ足を運べていないのが現状です。JA以外のセールスが力をつけている昨今、農家と顔合わせができていないと、繋がりが薄くなり、JAから離れていく人が増加していきます。指導員が現場に来られるような体制作りをお願いします。自分たちもそれに応えたい気持ちです。
- (JA) 指導員は補助事業の業務もしており、現状、指導員本来の仕事の時間が少ないのは事実です。地域差はありますが経済涉外も農業について知識向上や、担当者会議で、積極的に訪問するように指導しています。専門的な知識をもつ営農指導員は、基本的に専門農家・大農家をサポートし、知識をつけた経済涉外が、兼業農家・小農家をサポートできるようにしたいと思っています。
- また営農指導関係についてですが、一部センターでは、タブレットを導入しています。さらに、JAの新営農情報システムを、平成28年中に立ち上げたいと考えています。その際、実際に使用するようになる機能について、青年部からの意見も取り入れたいのでぜひ会議に参加してください。
- 販売戦略について。みなべの南高梅、印南のミニトマト等、いくつかの高級ブランドを確立しているが、これを利用して、管内の他地域の同じ作物の価格をどう引き上げていこうと考えています。
- 「JA紀州ブランド」を作りたいと考えています。ミニトマトに関しては、印南以外の産地も品質向上に努めているところです。野菜については徐々に、すすめているところです。販売の手法というのは無く、自分たちで探りながら、取り組んでいます。
- 人材育成について。組合員の要望を放置してしまう事例があります。職務に対するプロ意識、専門知識を持つ、信頼できる職員を望んでいます。
- 定期的に研修等を行っています。今後さらに指導を徹底します。
- 人事異動について。支店・センター等に、張り紙をしてはどうですか。
- 実施します。人事異動は広報誌に掲載していますが、より早く皆様に周知できるように、支店・センターのわかりやすい所に張り紙をします。
- JAに電話をかけた際、名前を名乗りません。伝達ミスの原因になってしまいうこともあります。
- 部署・氏名を必ず名乗るよう指導しておりますが、浸透していないようです。徹底します。
- 集荷場などは例外だが、日直など休日に出勤する際、職員らしくない服装を見受けられます。
- 職員らしい服装で出勤するよう、指導します。
- 「青年部と市町村との対話集会」に力添えをお願いしたいと思います。
- 積極的に、話を進めていきます。

さわやか日高 創業祭

11月19～22日、さわやか日高では創業祭で様々なイベントを行い、4日間多くのお客様で賑わいました。また11月中、由良・美浜・日高町内の小学生が描いた絵画を店舗内に展示しました。

つきたてのもち無料配布、もちつき体験



由良町産みかん詰め放題



▲店舗内に絵画を展示



▲JA 京都やましろの宇治茶詰め放題



▲新鮮野菜の直売朝市

✓ 年金友の会 第2回ゲートボール大会

12月2日、日高川ふれあい水辺公園ゲートボール場で、第2回 JA 紀州年金友の会ゲートボール大会を行い、管内から25チームが参加しました。参加者は日頃の練習の成果を発揮し、交流を深めました。



優勝 美浜C



準優勝 えびす



3位 江川



試合の様子



始球式

✓ 大阪で和歌山県産花きPR！『きちゅうくん』も参加

11月21・22日、和歌山県農は大阪地下街（株）なんばウォーク内クジラパークで和歌山県産花きのPRイベントを行いました。『いい夫婦の日』の花文化の提案と周知拡大、『母の日参り』のPR、和歌山県の魅力発信とファン作りのため、来場者（夫婦、恋人、女性）2,000名にガーベラをプレゼントしました。

きちゅうくんは、なんばウォークのキャラクター『なんばワン』と共演し、来場者と記念撮影をするなど、イベントを盛り上げました。



✓ 共済部 プレミアム倶楽部交流会 吉本新喜劇を観劇

11月25・26・27日、プレミアム倶楽部交流会に、管内から合計253人の会員が参加しました。なんばグランド花月で吉本新喜劇を観劇し、大阪新阪急ホテルでのバイキング昼食を楽しみました。



✓ JAあいち豊田が視察研修に訪れ 移動スーパーとくし丸等を見学

12月10日、愛知県のJA あいち豊田から担当常務を含む役職員3人が視察研修に訪れました。JA 紀州のとくし丸事業を中心に、概要説明、事業説明及び移動スーパーの販売現場を見学しました。



✓ 女性会いなみブロック 梅の剪定講習会

11月26日、梅の剪定講習会を開き、会員12人が参加しました。切目川地区の会員の圃場を借り、JA 営農指導員が講師を務めました。剪定の順序、摘心の必要性等について詳しく勉強し、剪定に挑戦しました。



✓ 県フレッシュミズ交流会 プチ文化祭

11月26日、海南市ロイヤルパインズホテルで、県フレッシュミズ交流会が行われ、当JAから会員5人が参加しました。各JAのフレッシュミズ会員が持ち寄った手作りバッグ等の販売、体験コーナーやベリーダンス教室で、会員同士の交流を深めました。またフレッシュミズの今後の活動等について、討論しました。



✓ 女性会 各ブロックでお正月の 寄せ植え教室

12月、女性会各ブロックでは、お正月用の寄せ植え教室を開き、合計約200人が参加しました。お正月にふさわしい、華やかな寄せ植えが出来上がりました。



✓ 秋の総合展示会

11月27・28日、県農紀南農機資材事業所で、総合展示会を開きました。農機、各種農工具類の展示販売を行い、2日間多くのお客様にご来場いただきました。



✓ 稲原中学校 もちつき&もちまき

12月4日、稲原中学校の全生徒37人で、9月に収穫したもち米でもちをつきました。5日には父兄や地域の方々を招き、もちまきを行いました。



✓ 女性組織50周年記念大会・家の光大会 「絵手紙・川柳コンテスト」入賞！

11月24日、県JA女性組織連絡会創立50周年記念大会・家の光大会における「絵手紙・川柳コンテスト」の受賞者が発表されました。

県内から絵手紙176作品、川柳195作品の応募があり、厳正な審査の結果、絵手紙部門で、当JA女性会の川辺ブロック 杉谷美佐子さん、ひだかブロック 深海三千代さんの作品が入賞し、記念品を贈呈しました。



深海三千代さん(左)



杉谷美佐子さん(左)

✓ 女性会 いなみブロック遊花サークル

12月4日、印南支店で、季節の草花を使った寄せ植えを作りました。





うめ



整枝・剪定

広報誌スマイルハート10・11月号を参考にして下さい。できるだけ、開花前までに終わるようにして下さい。

病害虫

ノコメトガリキリガ

(通称 モモノハナムシ)

近年、一部地域で、開花期に異常発生がありました。症状は、花を食べられてしまい、実がつかない状況です。被害のあった園地では対策を行って下さい。

(ミツバチ設置前)

モスピラン 顆粒水溶剤 2000倍

灌水について

夏場の土壌乾燥が樹勢低下を起すことは知られていますが、冬の乾燥も根の細根量や生育に影響しますので、乾燥が続けば灌水を実施して下さい。

土づくり (根を元気に！安定生産のための重要な対策です)

秋・冬は土づくりの時期です。特に石灰は酸性の矯正だけでなく、梅は石灰の吸収量が多く、根・枝・葉等、様々な器官に多く利用されます。毎年必ず施用しましょう。

・堆肥 (牛フン・もみ殻堆肥

2 t / 10 a) と土壌改良剤 (苦

土入りセルカ又は苦土石灰

100 ~ 120 kg)

ミツバチの設置・保護について (結実安定生産のための重要な作業です)

ミツバチは雨の降らない日で12℃以上・風速が3 m以下で活動が活発になります。受粉不良園では、必ずミツバチを設置しましょう。

(1箱 / 10 a)

- ・梅の開花期間中 (貸出したミツバチの回収が済むまで) は、ミツバチ保護のため農薬を散布しないで下さい。
- ・一度置いた場所を絶対に動かさないで下さい。

ミツバチ保護のお願い

回収日の朝に入口を閉めると、写真のように、熱さでミツバチが死んでしまいます。必ず、回収日の夕方に入口を閉めて下さい。

なお開花期間中、ミツバチの設置期間は、農薬を散布しないで下さい。

スカシバコンを設置しましょう!!

スカシバコン L

50 ~ 100 本 / 10 a

スカシバコンの面積当たりの設置は、当初に比べ大幅に減っています。これに伴い、コスカシバ被害が各地で増えてきています。これ以上、被害を拡大させないためには、農家1人1人の設置が重要です。産地全体の設置で効果が高まりますので、皆様のご協力をお願いします。

被害のひどい園では、フェニックスフロアブル 200倍を散布とスカシバコンで密度を減らしましょう。

ミツバチ



柑橘類



土づくりと樹勢回復

近年、かんばつの影響で樹勢が低下しやすい環境が続いています。有機堆肥の投入や客土を行って通気性、保水性を良くし、土壤が乾燥したら可能であれば灌水を行って下さい。また土壌が酸性になると、肥料の吸収が悪くなるので石灰を投与して下さい。

寒害対策

今年の予報では暖冬となっていますが、時期により寒波が到来することもあります。

寒波は旧葉が落ちたり枝が枯れたり、寒害果の発生も助長しますので、被害に遭いやすい園では収穫を急いで、被害の回避を行って下さい。



(表1) 中晩柑類の最適貯蔵温湿度目安

品 種	予措による減量歩合(%)	温度(℃)	湿度(%)	注意事項
不 知 火	3～5	6～8	85～90	貯蔵は新聞紙やタイベック等で包み、過乾燥に注意
ポンカン	5～7	5	90	高温多湿条件で予措戻り、す上がりに注意
甘 夏	4～5	3～7	90～95	ポリ個装が良い(乾燥で虎斑症多発)
八 朔	不要	4～6	90	予措及び温度が8℃以上になると虎斑症を助長するので注意

中晩柑類の収穫・予措・貯蔵

中晩柑は貯蔵と流通までに時間を要するため、収穫前までに必ず腐敗防止剤を散布して下さい。今年は11月の気温上昇と降雨により、樹上での腐敗果が多く発生しています。収穫時は注意して採果し、予措貯蔵を行って下さい。

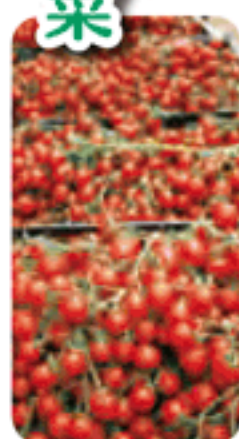
剪定の実施

連年結果樹では、樹形を大きく変更する必要があるため、間引き主体の軽めの剪定を行って下さい。表年樹の母枝の多い樹では間引きを行うと同時に、新梢の発生を促進させ、反対に母枝の少ない樹は軽めの剪定を行って下さい。また中晩柑では、樹が高いほど薬剤が掛かりにくいいため、カイガラムシ類が多く発生しますので、枝の整理を行って下さい。

春肥の施用

柑橘施肥基準を参考に行って下さい。また葉色が濃い場合は、施肥量を加減して下さい。

野菜



ミニトマト

摘果(花)作業

1月から2月にかけては、開花から収穫までの日数が栽培期間中で最も長くなることから、草への着果負担が大きく、草勢を維持し辛い時期となります。対策として、適期収穫を行うと共に、草勢に合

わせた摘果(花)作業を実施して下さい。

特にアイコでは2月以降に開花する房を摘果(花)することにより、春先に収穫する果実の肥大を促すことができます。

裂果

裂果の発生が例年よりも早い時期から発生しています。

対策としては、草勢の強弱を無くし、適期収穫に努めると共に、結露対策として、早朝の加温による温度差を無くし、さらに循環ファン等でハウス内の空気を対流させることや、朝の換気のタイミングを調整するなど対策を取って下さい。

病害虫防除

摘果を適期に行うことで、葉かび病等の病気の予防になるだけでなく、コナジラミ等の害虫の卵や幼虫を施設外へ持ち出すことで、発生密度を減らすことが出来ます。また、果実に光が良く当たることによる果実肥大の促進、着色スピードの向上、着色ムラの軽減、糖度の上昇、さらには農薬がより掛かりやすくなるなど、多くのメリットがあります。

病害虫が発生していない場合でも定期的な薬剤散布を実施して下さい。また、循環送風機の使用は予防的な効果が大きく、病害が発生してからでは被害を拡大させますので注意して下さい。

黄化葉巻病

今年度、多くの圃場でコナジラミが確認されています。施設で越冬し、春先に再発生する可能性があるため、必ず予防的な薬剤散布を行って下さい。

黄化葉巻病が発病した場合は、直ちに株元から切断又は引き抜き、土中へ埋めるか、ビニール袋で密閉して燃えるゴミへ出すなど適正に処理して下さい。

葉かび病・すすかび病

草勢の弱りやハウス内湿度が高くなると発生量が多くなります。適度な換気に努めると共に早めの摘葉等を行い、予防的な薬剤散布も行ってください。

うどんこ病

昨年度、多くの圃場で発生が見られました。草勢の弱りやハウス内の乾燥が原因で発生しやすくなりますので、予防的な薬剤散布も行ってください。

【農薬登録削除情報】

サンマイトフロアブルのミニトマトへの登録が、1月6日より削除される予定となっています。以降は使用しないように注意して下さい。

●ピーマン

栽培管理

気温が低くなり、加温機の稼働時間が長くなってくると、ハウス内が乾燥し、果実の肥大や交配、光合成への影響、うどんこ病の発生に繋がりますので、天気の良い日は畝間に軽く灌水を行って下さい。

温度管理については、午前中は換気扇の動かす時間帯を遅くするなどで少し蒸し気味に管理を行い、午後からは換気を中心管理を行い、夕方早めに換気を止め、ハウス内の温度を保つようにして下さい。

また、根が畝間まで伸びてきていますので、畝間の乾燥防止と土のつまり防止、地温の確保を目的に、堆肥等を敷いて下さい。

整枝については内枝を徐々に整理し、2月以降は完全に整理を行

い、主枝とその側枝を中心に、収穫を行って下さい。

●ナス

栽培管理

ナスは水分が必要な作物ですので、土壌を乾燥させないように、少量多回数の灌水で適度な湿りを保ってください。

整枝については、一度に多くすると果形が乱れたり、草勢低下の原因となりますので、適時行うようにして下さい。

草勢については、柱頭ととげを見て判断し、追肥のタイミングが遅れないように調整して下さい。

●キュウリ

栽培管理

摘心は下段から中段まで、葉が混み合っている圃場については、1節で行って下さい。また、上段については1段で摘心をして下さい。

外気温が高く伸びすぎた時には、切り戻しをせず先端で留めて下さい。

温度管理は、28℃～30℃、午後は3時頃に20℃まで下げるようにし

て下さい。

●豆類

○ハウスうすい

灌水は、出来るだけ晴天の日の午前中に行いましょう。畝間灌水は加湿となり、根痛み・べと病・さび病の発生原因になるため、出来るだけ灌水チューブを使用し、灌水して下さい。

空気炎の発生を抑制するためのポイント

- ・朝はハウス内温度の上昇を待ってから換気する。
- ・昼間（特に午前中）の温度確保に努める。
- ・夕方も早めに閉めて、温度確保に努める。（灰色かび注意）
- ・日照量確保のため、畝間を広く取り、整枝を確実に行う。

○キヌサヤ

紀州さや美人は、草勢が弱く、本年のように高温が続く、その後曇天が続いている状況では根の張りが悪いと考えられますので、こまめな追肥や葉面散布により草勢の維持を図って下さい。

風通しを良くし、光がよく当たるように、不要な枝は草勢を見ながら早期に取り除いて下さい。

また蔓下げを行う場合、一度に蔓を下ろすと極端に草勢が低下します。誘引紐を緩め、蔓の重みで自然に下がる程度として下さい。

●ブロッコリー

花蕾発生時期に降雨が多いと、べと病の発生が懸念されますので、予防散布に努めて下さい。

防除薬剤

べと病	ランマンフロアブル	2,000倍	3回以内	収穫3日前まで
	フォリオゴールド	1,000倍	2回以内	出蕾前まで但し 収穫21日前まで

追肥

花蕾が見え始めた頃に、千代田化成（10a当たり2袋程度）を施用して下さい。早すぎる追肥は、異常花蕾（扁平）の原因にもなりますので注意して下さい。

灌水

低温乾燥により収穫時期は遅れます。乾燥が続く場合は、出来るだけ午前中に灌水を実施して下さい。

収穫

雨天の収穫は、必ず水分を取り除き（乾かす）箱詰めを行って下さい。しまりの良い花蕾を選び収穫しましょう。取り遅れにならないように注意しましょう。

出荷

規格の範囲内で満杯詰めにして下さい。出荷の際は、必ずP・プラスチックに入れ出荷して下さい。雨天の続く場合は、必ず水分を取り除き（乾かす）箱詰めを行って下さい。

●キャベツ

追肥

結球最外葉の葉緑がわずかに外へそり返り、結球表面が光沢を増した頃が収穫適期です。収穫が遅れると品質が低下するので、結球が完了したもののから順に収穫して下さい。

収穫の際は取り遅れにならないように注意しましょう。

防除薬剤

菌核病	シグナムWDG	1,500倍	2回以内	収穫7日前まで
	ロブラール水和剤	1,000倍	4回以内	収穫7日前まで
べと病	フォリオゴールド	1,000倍	2回以内	収穫14日前まで
	ランマンフロアブル	2,000倍	4回以内	収穫3日前まで

●なのはな

花蕾発生時期に降雨が多いと、べと病の発生が懸念されますので、予防散布に努めて下さい。

防除薬剤

べと病・軟腐病・褐斑細菌病	Zボルドー	500倍	—	—
白さび病	ストロビーフロアブル	3,000～4,000倍	2回以内	収穫前日まで
	ランマンフロアブル	2,000倍	3回以内	収穫3日前まで

追肥

年明け後、収穫が盛んな2月になる前に、肥効の長いIB化成S1（10a当たり2袋程度）を施用して下さい。

収穫

取り遅れにならないように注意しましょう。雨の日の収穫はできるだけ避けて下さい。

花き類

●スターチス

低温状態で乾燥が続くと、生理障害が発生しやすくなりますので、水分状態や保温に努め、注意して下さい。(サンダーパイオレットでは、花芽が黒くなる等)

但し、ハウスを閉め切る時は、ハウス内湿度に注意し、ポイラーや循環扇等を活用し、灰色かび病の発生に注意して下さい。

また、灰色かび病・株疲れの軽減、次の芽吹き充実のため収穫は順次行い、採花遅れや、極端な乾燥に注意して下さい。

●カスミ草

昼夜温の温度差や、土壤水分が多すぎると、軟弱な・徒長した切り花が出来やすくなります。品質保持のため適度な灌水は必要ですが、一度に多量の灌水は控えて下さい。

日中は換気に努め、夜温を高める管理を心掛けて下さい。

二番花の仕立て

急激な刈り込みは株枯れの危険性がある為、芽の確認を行ってから刈り込む等、できるだけ株に対する負担を軽減させるように行って下さい。

さい。

二重被覆を行うと芽の伸長が促進されますが、日中の温度は40℃位までに抑えるようにし、トンネル内の湿度を保って下さい。

蒸し込み中に二番花の芽整理作業を行います。芽の大きさが5〜10cmに伸びた頃に、大きさを揃ったもので整枝して下さい。

また、二重被覆を行う前には、必ず病害虫(うどんこ病、アブラムシ類、ハモグリバエ類等)の防除を行って下さい。

●スイートピー

シミ・花落ち予防のため、日中はハウス内湿度を下げる様に心掛けて下さい。

換気は、冷たい風が直接作物に当たると、花卉が痛みやすいため、作物に直接風が当たらないように、防風ネット等の資材を利用して下さい。

灌水は、ハウス内の湿度に注意し、晴天が続くと予想される時の午前中に草勢、採花ペースに合わせて行って下さい。

灰色かび病(花シミ)予防のため、薬剤散布やボトキラー施用等を確実に行って下さい。

2016年(平成28年)は申年

さるとし 申年の梅は縁起がいい!!

健康食としても馴染み深い梅。特に申年に収穫される梅は、縁起が良いといわれています。

平安時代、村上天皇が疫病に苦しむ人々を、梅を使って救い、また自らが病で倒れた時にも、梅によって克服したという言い伝えがあり、それが申年だったことから、申年の梅が薬として広まったという説があります。

また、江戸時代の天明の飢饉の時は、全国各地で、飢餓や疫病により多くの死者が出ましたが、村上天皇の故事に習った紀州藩だけは、梅干によって死者がほとんど出なかったといわれ、その年がやはり申年でありこの年に漬けた梅だった、ともいわれています。

他にも「病が去る」「難が去る」といった語呂合わせから、縁起を担いでいるそうです。

いずれにしろ、昔から梅は、薬のように珍重されていたそうです。

さるとし 申年に梅を漬けよう!



紀州漆器伝統産業会館

黒江の町並みは、のこぎりの歯のような町並みが特徴で、その町並みを見るために多くの観光客の方々がこの地区を訪れています。

そんな伝統的な町並みの中にあり、紀州漆器の里、黒江のまちのシンボリックな建物が紀州漆器伝統産業会館です。館内の漆器の展示・販売コーナーでは盆や重箱等の様々な紀州漆器やアクセサリ等が多く陳列されています。また、漆器の作り方を紹介するパネルもあり、漆器がどのようにして作られるかを知ることができます。

毎週土・日曜日には、漆器職人さんの実演があり、多くの人でにぎわっており、予約をすれば、漆器の技法「蒔^{まき}絵^え」を体験することもできます。

是非一度黒江のまちを訪れていただいて、紀州漆器の歴史と伝統に触れていただけたらと思います。



- 【所在地】 海南市船尾 222 番地
- 【電話番号】 073-482-0322
- 【休館日】 第2日曜日(イベント開催時は開館)
- 【開館時間】 10時～16時30分
- 【入館料】 無料
- 【駐車場】 有り(無料・観光バスも可)
- 【ルート】 JR 海南駅から徒歩 30 分
大十オレンジバス・和歌山バス「黒江」下車、
徒歩 5 分
JR 黒江駅から徒歩 20 分

『みなべ・田辺の梅システム』

世界農業遺産 登録決定!!

12月15日、『みなべ・田辺の梅システム』が世界農業遺産に登録されました！
詳しくはスマイルハート2月号に掲載いたします。

読者の 広場



龍神村柳瀬

柳川 莉央ちゃん (3才)
虎太郎くん (1才)

ご両親 和人さん、沙織さん

明るくて元気いっぱいの莉央ちゃんと虎太郎くん。莉央ちゃんはおままごとや、パズルで遊ぶのが大好き。春から保育園に行くのを楽しみにしています。虎太郎くんはぬいぐるみで遊んだり、絵本を読んでもらうのが大好き。自分でぬいぐるみに絵本を見せてあげたりするそうです。

2人がもう少し大きくなったら、USJに行ったり、旅行をしたり遠出したいね、と家族で話しているそうです。お母さんの沙織さんは、「2人とも、周りの人を明るく元気にしてくれるような子に成長してほしいです」と微笑みます。

JAバンク休日ローン相談会

ご来店のお客様には
数量限定で粗品を
プレゼント!

■開催日時

平成28年 1月24日(日)

9:00~12:00

■開催会場

湯川支店 名田支店 川辺支店

美浜支店 日高支店 由良支店

印南支店 梅の郷支店

本店ローンセンター(16時まで開催)

■お問い合わせ先・本店ローンセンター(フリーアクセス)

0800-200-7749

女性のための!

先着50名

野菜栽培・農機使い方教室

井関農機(株)協賛

日時:平成28年3月4日(金)
13時~17時



場所:和歌山県農業大学校就職支援センター
(御坊市塩屋町南塩屋 724)

対象:JA 紀州管内在住の女性(先着 50 名)

昨年大好評だった教室を今年も開催!
農業や家庭菜園を頑張る女性の皆様、ぜひご参加ください!

※参加には事前の申し込みが必要となります。詳しくは、後日の折り込みチラシにてご確認ください。



昨年度の様子



参加費無料!

お正月特別クイズ

おサルさんの迷路



左端の①～⑤のどれかからスタートして、おサルさんの絵をつなぐ道をタテヨコに進み、右端のA～Eのどれかまで抜けましょう。斜めには進めません。また、一度通った場所を再び通ることはできません。

ただし、5種類あるおサルさんの絵のうち、3種類の絵しか通れません。4種類以上を通ってははいけませんよ。

【問題】

正解の道は、どこからスタートして、どこにゴールするでしょうか？

答えは「○(数字) から○(アルファベット)」と書いてくださいね。

■応募方法

右記の記入例を参考に、ハガキまたはFAX (0738 - 32 - 7140) にてご応募下さい。

皆様からお寄せいただいたお便り、感想等は広報誌・HP上に掲載させて頂く場合がございます。その際は市町村・イニシャルを使用させて頂きます。ご了承下さい。

切手 644-0011
J A 紀州
くらしの活動課 行
御坊市湯川町財部 668-1

正解者の中から抽選で5名の方に、

●先月号の答えは

「カンツバキ」でした

ウスイエンドウ
(1kg)
プレゼント!

●締切

1月29日(金)消印有効

当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。



ふれあいコーナー・占いコーナーはお休みです。

表紙紹介

みなべ町西岩代

大江 里々愛ちゃん(7才)
吏叶くん(6才)

活発な2人は外で遊ぶのが大好きで、山や畑を走り回っているそうです。最近、里々愛ちゃんはパンケーキ作りにはまっています。吏叶くんはキャッチボールやバッティング練習を頑張っています。

ご両親からのメッセージ

これからも元気イッパイで毎日笑って仲良く過ごしていこうね。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。お正月といえば、年賀状。今や可愛い年賀ハガキがたくさんありますね。そんな中、日本郵便の年賀ハガキで、切手部分にサルが入浴しているイラストが描かれているものがあります。ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、12年前のデザインとよく似ていて、その時サルは「一匹」だったそうです。では12年後の今年のデザインは…？お持ちの方は、見てみてくださいね。

さて、今年はどんな年になるだろう？新しい年に、心ときめかせるばかりです。

肉まん



女性会館北ブロック
寺崎 鈴子さん

寒～い日にはホッカホカの肉まんが食べたくなりますね。意外と簡単ですので、手作り肉まんに挑戦してみてくださいね。ポイントはコンソメのゼラチンをいれること！肉汁があふれるおいしい肉まんに仕上がりますよ。

JA Kishu
COOKING
vol.021



* 材料 (16個分) *

●生地

A { 薄力粉……………200g
強力粉……………200g
ドライイースト…大さじ1
砂糖……………60g
サラダ油…………大さじ1
ぬるま湯…………200ml

●タネ

豚ひき肉……………200g
干しいたけ…7～8枚
タケノコ……………小1本
長ネギ……………1本
しょうが……………1片

B { しょうゆ…大さじ3
酒……………大さじ2
ごま油…………大さじ2
砂糖……………大さじ1/2
塩……………小さじ1/2
こしょう…少々

C { 固形コンソメ…1個
ゼラチン…………1袋(3g)
お湯……………100ml

* 作り方 *

1



干しいたけを水で戻す。

2



Cのゼラチンとコンソメをお湯で溶かし、器に入れて固める。(16等分するので、四角い皿があると便利)

3



ボールにAを入れ、ぬるま湯を少しずつ加えながら、よくこねる。

4



ラップをし、レンジ 50℃で15分(または45℃で20分)発酵させる。(ホームベーカリーを使用してもOK)

5



発酵したら、1回パンチしてガスを抜く。生地を16等分する。

6



しいたけはいしづきを取り、タケノコ、長ネギ、しょうがを適当な大きさに切り、フードプロセッサにかける。(みじん切りでもOK)

7



⑥と豚ひき肉、Bの調味料を加えてよく混ぜ、16等分しておく。

8



生地を伸ばし、⑦のタネをのせ、真ん中に穴をあけ、②のゼラチンをのせる。

9



両端をつまみ合わせ、タネを包み、しっかりと閉じる。
※生地にゼラチンがつくと、生地がくっつかなくなるので注意！

10



クッキングシートに乗せ、蒸し鍋で、中火で12分蒸す。



この広報誌は、環境にやさしい再生紙と一部植物油インクを使用しています。



JA 紀州
発行：紀州農業協同組合
編集：総務部くらしの活動課

〒644-0011 御坊市湯川町財部 668-1
TEL: 0738-22-2480(代表) FAX: 0738-23-3223(代表)

メールアドレス: kurashinokatudou@kisyu.jawink.ne.jp
HPアドレス: http://ja-kisyu.or.jp